

NTT データ

三井カードがネットショッピング認証サービスにワンタイムパスワードを導入

三井住友カードは、ネットショッピング認証サービスにおける本人認証用パスワードとしてワンタイムパスワードを導入した。NTTデータと共同で、スマートフォン（以下、スマホ）のアプリを用いたワンタイムパスワードサービス「One Time Pass（ワンタイムパス）」アプリを新たに開発し、三井住友カード会員を対象に、2015年11月16日より提供を開始する。クレジットカード決済における、スマホアプリを用いたワンタイムパスワードの導入は、国内で初めて。

インターネット取引によるクレジットカードの不正使用は、ID・パスワードの漏洩や使い回しに起因する「なりすまし被害」などにより年々増加傾向にあり、現在では、全体の約半数を占めている^{※1}。三井住友カードでは、このたび、Visa・MasterCardが提供するネットショッピング認証サービス^{※2}のパスワードに、60秒ごとに変わる一度きりの使い捨てパスワード（ワンタイムパスワード）を導入する。ワンタイムパスワードを導入することで、上記「なりすまし被害」を防止することができ、高い安全性を確保できる。

ネットショッピング認証サービスとは、インターネットショッピングを利用する際に、パスワードによる本人確認を行うサービスだ。ネットショッピング認証サービスに参加しているお店で利用すると、自動的にパスワードの入力

画面が立ち上がり、金額やハンドルネームなどを確認後、予め設定してあるパスワードを入力し本人認証を行う。パスワードの入力画面はカード会社が表示し、ショッピングサイトにはパスワードが残らないので、安心して利用することができる。

ワンタイムパスワードは、NTTデータと共同で開発したスマホアプリ「One Time Pass」で提供する。クレジットカード決済の分野で初めて、安全性が高く、専用デバイスの持ち運びの必要がない、スマホアプリを用いた「ソフトトークン」型を採用した。

ネットショッピングでのカード決済の際、ネットショッピング認証サービスのパスワード入力画面で、「One Time Pass」アプリを立ち上げ、表示されたパスワードをコピーし、認証画面に貼り付けるか直接入力することで本人認証が完了するため、簡単・便利に利用することができる。

なお本サービスは、スマートフォンユーザーの三井住友カード会員で、インターネットサービス「Vpass」に登録している方は、無料で利用することができる^{※3}。

三井住友カードとNTTデータは、ネットショッピングにおける新たな本人認証の手段として、ワンタイムパスワードを業界に先駆け導入し、より安心・安全なクレジットカード決済環境の実現を目指していく。



※1 出典：一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正使用被害の集計結果について」
 ※2 Visaが提供する「VISA認証サービス（Verified by Visa）」と、MasterCardが提供する「MasterCard SecureCord」が対象。
 ※3 利用するには「Vpass」からのお申し込み手続きが必要。

NTTデータ 広報部 TEL：03-5546-8051